

# 「川」

今から四ヶ月前の十二月ごろだったと思う。そのころからだんだんと川の水が緑がかったきた気がしていた。私の錯覚かなと思いい、家族にたずねてみたところ、「せやな、最近あの川あおなつとんの。」私の錯覚ではなく緑がかっているのは確かかなようだった。

その川は、私の家から近く、嫌でも毎日目にするので、だんだんと緑がかっていく川を見るのが嫌だった。夏には、姉や友達とその川に入り、水を掛けあつたり小さな魚を追いまわしたりして、はしゃいでいたのだ。その時はまだ全然緑がかかる様子もなく、とても透き通っていた。私はそのきれいな皮が好きでいっぱい写真を撮ったり、美術の作品にも描いたりするほどだった。そんな思いのある川を緑にした原因を知りたかった。

山添村立山添中学校 三年

今本 暖乃

そこで私は、家族や身近な人、インターネツトを使って緑になつてしまつた原因を突き止めることにした。いくつか考えられる原因があつたが、その中でもいちばん当てはまる原因が一つ出てきた。それは青粉（アオコ）というものだった。他にもいろんな呼び方があるが、一般的にはアオコと呼ぶらしい。アオコが発生するのは今回、川が富栄養化になつたことが下人だとわかつた。ようするに、川の水にふくまれる栄養分が増えすぎてしまつたということだ。主に洗剤や農薬、肥料がたくさん流れ込んでしまつたことにより起こると考えられている。このことによつて、水面を覆い尽くすほどの藻（アオコ）が発生するようだ。

アオコが発生すると、私たちには利用障害となる。例えば、漁業や観光産業、また、水

源として利用する水道水の異臭・異味など健康被害も心配される。人だけではなく、鯉などの魚類では、藻による呼吸作用によって酸素欠乏になり死滅してしまうのだ。水草などの植物も水面がアオコによって覆われると遮光されて光合成が行えずに死滅してしまうのだ。正直アオコの被害がこんなにも大きいとは思ってもみなかった。私にもいくつか関係することがある。

どうにかしなければならぬと思った私は自分でもできることを考えてみた。アオコが発生する原因は洗剤や農薬・肥料がたくさん川へ流れ込んだためだった。つまりその逆、たくさん流れ込まないようにすればいい。食器やお風呂でのシャンプーなど、二プッシュしていたのを一プッシュにするなど必要最低限まで減らすことができる。自分一人だけでは効果が小さいのかもしれないが、家族全員で意識すれば少なからず一人よりは十分良くなるはず。この作文を機にこれから実践していこうと思う。

こうして、水があるから私たちが生きていく、水のおかげと言っていていいと思う。洗剤な

どを必要最低限にするのは、水を汚さないだけでなく、洗剤が少なくなつた分の水も少なくなる。これは節水にもつながり、また、自然が持つ一定のバランスをくずさないことにもなる。

私たちが一人一人のほんの少しの行動で少しでも川がきれいになり、少しでも生き物たちを救えるのならその行動はとても価値のあることだと思う。

いつか、またきれいな川でいっぱい遊べたらいいなと思う。